

# 近代の集合住宅団地は 何を目指したか？



男山団地（京都）  
Photo: T.Kurachi

## 関西大学 戦略的研究基盤 団地再編プロジェクト パネルディスカッション

日時 2014年7月12日（土）14:00～17:30

場所 関西大学千里山キャンパス 第4学舎3号館3402室

今から40年前、日本の都市化がはじまった時代以降、各地に多くの公的な集合住宅が供給され、その数は、現在、旧公団住宅が77万戸、公営住宅が220万戸にも達する。これらの公的な住宅は多くの場合、集合住宅団地という形で建設された。

世界に目を向けると、近代的な集合住宅団地の歴史は、19世紀末から20世紀の初頭にかけてはじまった。それは健康で合理的な居住空間の追求であると同時に、社会的な住宅の供給という目的に沿ったものでもあった。紆余曲折はあるが、これらの集合住宅団地は、空間的には、「細長い矩形の住棟の平行配置（zeilenbau）」あるいは「公園の中のタワー（tower in the park）」と呼ばれる形態をとった。

このような近代の集合住宅団地は、とりわけ日本の団地は、何を目指したのであったろうか。それを振り返り、その後の展開を論じることから、集合住宅団地の価値と可能性について考えることにする。

### 【パネリスト】

鳴海邦碩（関西大学客員教授、大阪大学名誉教授）コーディネーター  
陣内秀信（法政大学教授）  
服部岑生（ちば地域再生リサーチ代表、千葉大学名誉教授）  
丸茂弘幸（元関西大学教授）  
角野幸博（関西学院大学教授）

### 【討論参加者（予定）】

江川直樹（関西大学）、岡 絵理子（関西大学）、橋寺知子（関西大学）、小浦久子（大阪大学）、平山洋介（神戸大学）、星田逸郎（星田逸郎空間都市研究所）、安原 秀（OLA）、増永理彦（神戸松蔭女子学院大学）

### 【申し込み先】

関西大学 戦略的研究基盤 団地再編プロジェクト  
ksdp6720@gmail.com（メールのみ受付 担当：倉知）  
締切：2014年7月7日（月） Tel:06-6368-1111+（内）6720  
参加費無料

### 【主催・共催】

主催：関西大学 戦略的研究基盤 団地再編プロジェクト  
共催：都市環境デザイン会議関西ブロック